

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 出雲総業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		年に一度行う「経営方針発表会」に参加することで今期の経営目標を共有し、各事業所ごとの目標と取組み内容を共有、実践している								8	9										17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		社内規約を作成し、各事業所に配布することでルールを遵守する体制を構築している																		16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		お客様・パートナー企業様との関係を公平にするため、社員間では定期的な話し合いを企業様間においては年に一度全体会を開催し、周知徹底を図っている										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		事業所毎に組織化し、社会・環境に及ぼす影響に対応する専門部署を置き、情報の共有を図っている																		16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産戦略として自社商品であるウェイトベアやオリジナルベアの製造については社内での技術の継承を行い製造開発をすすめ、事業に貢献した社員については表彰制度を設け利益を還元するようにしている								8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報について、個人データの管理や個人情報が掲載された書類に関しては各施行が終了する際担当者が確認と処理をするように取り組んでいる																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		お客様アンケートを事業所ではなく本社に戻し、消費者の声を直接お伺いすることで改善を図っている																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		生産者から納品業者の方、調理過程からサービス提供者、お客様の元へ届くまでを管理し、定期的な衛生管理会議を開催し情報の共有化と意識定着に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】令和4年8月までに、BCPを策定する										9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		事業承継のため次世代の経営について、事業説明や共有化及び発言権のある役職に就けるなど先を見据えた事業継続のための対策をおこなっている									8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 出雲総業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		性別や年齢に対する差別を行うのではなく、優秀な社員にたいしては責任ある仕事を任せるなどの体制作りを行っている ハラスメント対策としても窓口を設けている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		人、モノ、管理の重要性から管理監督体制をシステム化し機械の定期点検や備品(調理包丁や針等)の数量把握と毎日の複数人による確認作業を実施している			3							8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態にかかわらず、業務内容に伴った賃金等の原則に沿って対応している					5.5					8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		働き方の見直しを行い、残業時間を可能な限りなくし福利厚生施設の利用や育児休暇の推奨を行い家庭との時間を楽しめるよう、仕事とのワークライフバランスを推進している			3		5.5					8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		入社時の新人教育システムの導入や、他社の訓練機関を利用する機会を提供している				4	5.5					8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		会社の貴重な財産である社員の健康管理や生活習慣病の予防のために、定期健康診断の受診や産業医に相談ができるような体制を作り、またフィットネスジムとの契約で社員は割安で利用できるようにしている			3							8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様な人材が十分に活躍できるように、高齢者や障がい者の方、外国人の方も活躍できるように起用している				4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3							16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		新しい生活様式に合わせてオンライン会議の導入や在宅でのテレワークを行っている			3							8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		オンライン会議の導入を行っており、パンフレットのデジタル化やオンライン打合せの導入を行っている 【予定】未だの事業所においてはお客様との打ち合わせをオンラインを使用する予定(2022年8月末までに実施)										8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		【予定】プライト企業登録についても取り組む予定(2022年8月末までに実施)			3	4						8	9			12					



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 出雲総業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物処理については定期的に処理業者の方に依頼するなど取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力や水道など光熱費については事業所毎に数値を把握し、削減について目標を見える化することで取り組みをしている 建物内の電球についてはLED化を進めている							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		社用車についてはハイブリッド車を導入し、CO2排出を抑制している 社内で扱う紙の削減のため配布資料をデータ化し電子化に取り組んでいる 熊本県の簡易計算シートを2022年9月までに用いてCO2排出量を把握することを予定としている		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		生物の多様性の重要性を再認識し、テイクアウト商品についてはエコバックを推奨しビニール製の袋を可能な限り使用をしないように取り組んでいる						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ゴミの削減を行うために、テイクアウト商品の器の見直しと器をもってきてもらう事を進めている									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		熊本の水の質の保全と、使用量を減らせるように「節水」の貼りだしと共にSDGsのロゴを掲示し意識づけを行っている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した製品の取組みとしてお客さまへドリンクを提供する際に紙の使い捨てコースターから再利用できるコースターへ変更し、プラスチックストローから環境に配慮したエコストローへ切り替えをおこなっている									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		食品ロス削減のために提供量の適正化と一つの食材を調理法を変えることで有効活用に取り組んでいる 【予定】令和4年8月までにテイクアウト商品のプラスチックバック使用を軽減するためにお客様へお持ち帰り容器の推奨を行う	1	2				6.4								12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		建物へ緑の創出として建物周りやチャバルガーデンの緑地化を行っている												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			生物の多様性の重要性を再認識し、テイクアウト商品についてはエコバックを推奨しビニール製の袋を可能な限り使用をしないように取り組んでいる												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			社用車を購入の際には電気自動車やエコカーを購入するようしている								9.4			11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 出雲総業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		お客様に提供する品質の満足度向上を目的に、顧客アンケートを実施し商品及びサービスの改善と質の向上に努める仕組みを構築している			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザインの建物(障がい者の方にも使いやすい手すりをつけたトイレの導入、高齢者の移動を軽減するための段差をなくした斎場)にする事により、誰もが利用しやすい施設を作り環境整備を行っている									9.1	10	11.7									17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県産の食材を使用し直接生産者の方から購入することを推進し、料理のメニューにも取り入れることで全面的に県産食材をアピールしている			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●						2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域活性化のための団体に加入し、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。また地元の文化継承を行う活動にも積極的に参加している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		熊本地震の経験から防災に対する意識を強め、事業所ごとに有事に対するハザードマップを確認し避難経路や行動計画を作成し定期的な訓練を行っている				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	防災管理点検資格を取得する社員を育成し、定期的な消防訓練及び避難訓練を実施している	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	【予定】令和4年8月までに、SDGsの普及啓発のために、社内での普及啓発としてチームを結成する 【予定】令和4年8月までに、社内報や講習会を開き意識づけと、目標SDGsのロゴを貼り取り組み内容を掲示することで意識づけを行う	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	中学校・高校生の職場体験や、専門学校生の体験、インターンシップの受け入れをおこなって職業の学びの場を提供している				4					8.6		10.2									17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の学校からの採用を優先的に行っている				4.4					8.5 8.6											17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。